

平成21年度第7回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成21年 10月27日(火) 18:30 ~ 20:30

【場 所】 厚田支所 会議室6

【出席者】 伊豆原委員、大黒委員、河合委員、小林委員、佐藤委員、澤田委員、清水委員、菅原委員、
谷委員、中井委員、福沢委員、松浦委員、盛重委員、吉田委員
(欠席～畑中委員)

※あいうえお順

本庁～田岡市長

支所～鈴木支所長、澄川課長、相原課長、成田課長、
事務局～尾山課長、高田主査、植木主任

【傍聴者】 4名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 委嘱状交付
 3. 市長あいさつ
 4. 支所長あいさつ並びに職員紹介
 5. 会長及び副会長の選任
 6. 会長あいさつ
 7. 審議事項
 - ・基金活用提案について
 8. 報告確認事項
 - ・これまでの取組状況と今後の基本的な考え方
 - ・今後の運営に関する諸事項等の確認について
 9. その他
 - ・次回会議の日程等について
 10. 閉会

1. 開会

2. 委嘱状交付

3期目委員の紹介を交えながら委嘱状を交付。

3. 市長あいさつ

田岡市長よりあいさつ。

平成21年9月30日をもって区長制が廃止、組織改変にともなう支所の在り方について議論を進めている、この地区のブロードバンド化について国の予算がついた、ここ3年ほど本市は収支のバランスが取れ経営状態は安定している、先に開催された厚田ゆかりの四人展が大変好評であった等の話があった。

4. 支所長あいさつ並びに職員紹介

5. 会長及び副会長の選任

会長及び副会長は委員の互選により定めるという規定により、委員による互選が行われ、会長に菅原委員、副会長に佐藤委員が選任された。

6. 会長あいさつ

7. 審議事項

審議に入る前に、地域協議会委員から市長への質問の時間を設ける。

主な市長からの説明、市長へ質問等は下記のとおり。

- ・厚田地域づくり基金の活用について
- ・地域のIT化を進め、インターネットを通じた在宅医療や学習、講義等の可能性について
- ・厚田地区のテレビの受信状況、発足地区の携帯電話の電波の状況について
- ・支所の庁舎移転について
- ・当別ダムについて
- ・漁協の加工製品販売に係る状況、朝市におけるイベント実施を検討した場合の人手の問題等について

8. 報告確認事項

- ・これまでの取組状況と今後の基本的な考え方

審議事項の前に、報告確認事項の一つである当該項目について、事務局から資料2～4を用いた説明を行い、3期目委員全体で内容を確認した。

■ 審議事項

- ・基金の活用提案について

過疎地有償運送の実施を目指している「特定非営利活動法人あつたライフサポートの会」に関し、事業開始時の備品購入費等に地域振興基金を活用するという提案がなされる。なお、説明はNPO法人あつたライフサポートの会会長でもある佐藤副会長が行った。

○佐藤副会長：私から今回の提案内容について説明させていただく。当会は、いくつになっても安心してこの地に暮らすことのできるような地域づくりを目指しており、主に二つの事業の実施を考えている。一つは主に高齢者に方々をバス停や老人会の会場まで送る運送事業。もう一つは除雪事業である。運送事業については、既に無償による事業を実施しデータの収集なども行い、来年度に有償による運送事業である過疎地有償運送の実施に向け、体制を整えているところである。それらの事業実施の初期投資として、資料1にあるとおりの備品等を計上させていただいた。当会の理念をぜひとも理解していただき、審議していただきたい。

○菅原会長：ただ今の説明について何か質問があれば発言をお願いしたい。

○吉田委員：平成22年は基金の活用はないのか。

○高田主査：なぜ、この提案が補正予算なのかというと、来年4月から過疎地有償運送による移送事業の実施を予定しているが、その前段で運営協議会の合意を得なければならない。合意を得るためには、サポーターが過疎地有償運送の車両を運転するための講義を受ける必要があり、その受講料を前もって確保しなくてはならない。補助金は事業費の二分の一の額が補助されるが、交付金であれば全額交付を受けることも可能なので、その方向で本庁と打ち合わせを進めている。このことについて、

みなさんの承認を得て進めていきたいと考えている。

○吉田委員：せっかく基金の活用を検討するのだから、この予算額だと少ないようにも思えるのだが。

○高田主査：これから自分たちで動いていこうという思いがあり、なるべく会の資金のもとでの活動を考えているので、予算額については少ないと見られるのかもしれない。

○吉田委員：移送事業は個人の車を使用するとのことだが、一台くらいはワゴン車などを保有した方がよいのではないか。

○高田主査：そのことも会の中で議論したのだが、移送エリアが聚富、望来、厚田と細長いので、会で車を保有したとしても燃料代がかかるという話になった。

○佐藤副会長：移送事業に個人の車を使用するのはどうなのか…という考え方もあり、会としても検討したが、やはりエリアが広くて燃料代が高くてついてしまうという結論に至った。

○菅原会長：それでは、この事業を地域振興事業として基金の活用を承認してもよいか。

○委員一同の承認を得る。

8. 報告確認事項

・今後の運営に関する諸事項等の確認について

今後の協議会の運営について、開催頻度、議事録の作成方法等を確認。

*協議会の開催については、開催頻度は月1回の定例会とし、要請などがあれば別途開催を検討するとし、開始時間は午後6時30分、開催場所は「厚田支所」と「望来コミセンみなくる」でほぼ交互に開催するという事で委員一同より同意を得た。

*議事録は要点筆記にすることについて委員一同より同意を得た。

9. その他

・次回の日程について

平成21年11月27日(金) 18:30～ みなくる

・厚田支所の機構組織について

10. 閉会

平成21年11月27日議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

副会長 佐藤 勝彦